

## パソコンのキーボードのお話

3月30日（月）、春休み中ということもあり、部活動も午前中で終わって、静かな校内です。

校内では来年度の準備が始まっています。その様な中、外付けキーボード（メカニカルスイッチ）の勉強会を教員有志で行っていました。構造によって、メンブレン、パンタグラフ、メカニカルスイッチ、静電容量無接点の各方式があり、キーボードのキーの合うあわないによって、疲れ方やタイプスピードが違うそうです。

本日、教わったのですが、メカニカルタイプのキーボードには、ボタンにリニア（赤軸）、クリッキー（青軸）、スピードリニア（銀軸）、サイレントリニア（ピンク軸）、タクタイル（茶軸）、重めリニア（黒軸）（※軸の色で判別する）等があり、タイプした際の指の感覚が全く違うそうです。

人によっては、指の力が違うことを考えて、押すキーごとに軸を変えている人もいます。分かりにくいかもしれませんが、ひとさし指で押すキーと中指で押すキーの押し込む感覚を変えるようなことです。

知らない事ばかりで、生涯勉強です。生徒に様々なことを教える仕事の性質上、教職員も様々なことに興味をもって体験してみる事が大切だと思います。



SNSにも掲載します



@GOTSU\_TECHNICAL